



2023

学校だより 本荘 Smile

令和5年度 第33号
令和5年10月18日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

観劇会に行きました！本物にふれる教育の大切さを改めて実感しました。



9月28日（木）に観劇会がありました。今年度は、校長先生も子どもたちと一緒にいくことができました。昨年度も書きましたが、こういう催しが熊本市で行われることにうれしさを感じます。（昨年度は、途中から参加でした）

しかも、他校が全校の中のある学年しか参加できない中、本荘小学校では、全児童が観劇することができるのです。幸せなことだと思います。なにしろ、1年生から舞台を見ることができるのです。なかなか、体験できるものではないはずです。

文化的な体験は、本物でなければなりません。これは、私が常々考えていることです。そして、その文化や芸術作品が優れていれば優れているほど子どもたちの感性も育つというものです。

（時々、東京など都会の博物館や動物園をうら

やましく思います 笑）もちろん今は、インターネットや映像配信で見ることができます。しかし、自分の目の前で、舞台の俳優さんたちが、語り、叫び、踊り、殺陣を行い、本物の音や光の中で劇を楽しむことは滅多にないはずです。

今回の作品である「精霊の守り人」はテレビドラマ化されたこともある人気ファンタジーです。本校の図書室にも置いてあります。今、若者に人気のあるジャンルでもあります。そのせいもあって、劇中は大盛り上がりでした。

しかし、他校の子どもたちが大はしゃぎになる中、静かに先生方の指示をよく聞き、立派な態度を取り続けた本荘小の子どもたちはすばらしかったと思いました。みんなで笑顔のまま学校に帰り着いた観劇会でした。（校長）



※裏面は虫眼鏡です。

校長先生の虫眼鏡 「陸上教室やっています！！」

見てください。この低学年の雄姿！！PTA役員さん方に聞いてもらっている陸上教室での1コマです。大変暑い夏休みにスタートした教室ですが、常に10人近くの子どもたちが集まって、運動する楽しさ、走ることの面白さ、技術を学んでいるようです。

こんな表情で活動されると指導者は、うれしくてたまらないと思います。いつも指導して下さる志柿副会長には、大変お世話になりますが、今後も息長く続いてほしいと思います。

